

教育奨励賞



小崎 吉訓

略 歴

2011年 3月31日 岡山大学医学部医学科 卒業
2011年 4月 1日 津山中央病院 初期研修医
2013年 4月 1日 津山中央病院救命救急センター 医員
2017年 4月 1日 岡山大学病院 救急科 医員
2017年 9月 1日 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救命外傷
治療学 助教（特任）
2018年11月 1日 岡山大学病院 救急科 医員
2019年 4月～現在 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属医療
教育センター 助教

業績要旨

2019年4月に医療教育センターに着任し、岡山大学医学部医学科における学年進行の授業、行動科学（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ）を担当している。行動科学では、医学生がSNSとの関わり方や個人情報保護などについて考えることをテーマとして取り上げ、メディアリテラシー授業やスモールグループディスカッション（SGD）による共同学習などを通じて、人の行動を多角的側面から分析し、より良い医療者を目指す学習活動に繋げることを支援してきた。また、臨床現場における患者安全向上を目的とした臨床実技入門でのシミュレーショントレーニングでは、学生との双方向学習による授業を精力的に展開した。

特にこれまで、岡山大学が全国初の試みとして実施してきた、医学科・保健学科・歯学科の1年生約320名を対象とした医学科5年生の「ワクチンクリニック」実習では、その中心的役割として多大な貢献を成している。B型肝炎ワクチン並びにインフルエンザワクチンを、臨床実習中の学生と教職員約1500名にそれぞれ接種する本実習は、医学生に責任ある行動を促し、医療安全への意識を高めるといった意義深いものであり、併せて医学科の1年生が、Student Doctor（SD）である5年生の実習風景を直接体感できる、「屋根瓦教育」としても、本学に参加型実習文化を根付かせる重要な取り組みである。また、本実習は他大学医学科にとってもグッドプラクティスとして導入が始まっており、令和2年度の「ウイズコロナのワクチン接種計画」における3密回避については、多岐にわたる職種や人員と協議しながら検討を行った。

今後も、学生の安全・安心なワクチン接種技術習得の支援に注力するとともに、実践型教育や双方向学習の各プログラムを通じて、医学生のみならず、多様な医療人育成の取組にも幅広く貢献していきたい。